

## 25 国民春闘アピール

### たたかう労働組合のバージョンアップ、対話と学びあい 人間らしい生活と豊かな職場・地域・社会を実現しよう

「人手不足」を背景に、賃金・一時金は「歴史的な引き上げ」と報じられる一方で、多くの労働者が物価高騰にあえぎ、格差の拡大に不満を抱えています。こうした中、年末一時金闘争ではストライキを背景に大幅賃上げをめざす奮闘が各産別・地域で広がりました。また、名古屋市の会計年度任用職員 1,200 人に対する雇い止め問題では、当事者はもとより世論を巻き込んだたたかいで、当局の思惑どおりにさせていません。

こうした状況の下でたたかわれる 25 春闘で「対話と学びあい」を広げ、「たたかう労働組合のバージョンアップ」をはかり、「4つの要求（①すべての労働者の大幅賃上げ、②人間らしく働けるルールの確立、③公共の再生と社会保障充実、④改憲阻止・憲法がいかされる社会の実現）」実現に向け、公務・民間を問わずすべての職場・地域から奮闘します。

3月6日の中央行動、3月12日の集中回答日にむけ、すべての職場で要求書を提出するとともにストライキ権を確立し、3月13日の統一行動はすべての組合員の参加で、生活改善につながる大幅賃上げと労働時間短縮、雇用の安定などを求め労働組合主導型の賃上げ闘争を強めます。あわせて、「4つの要求」で未組織労働者や地域住民ともつながりを強めながら、全国一律1,500円以上の最低賃金、非正規労働者の賃上げや雇用の安定、ジェンダー平等、労基法解体阻止、消費税とインボイス廃止、マイナ保険証押しつけ反対などの課題で文字どおりの国民春闘をたたかいます。

#### 労働者・国民のみなさん

昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、広島・長崎への原爆投下から80年を迎えるなかで、ウクライナにおける戦禍は収まる様子を見せるどころか、報復の連鎖が強まっています。石破首相は「日本をとりまく安全保障環境は戦後もっとも厳しい」として、軍事費拡大・戦争する国づくりにむけた大軍拡をすすめています。くわえて、労働者に自己責任を押しつける「三位一体の労働市場改革」や8時間労働制を事実上撤廃する労働基準法解体など企業にとって安くて使い勝手のいい労働者づくり、高額医療費制度の「見直し」や介護サービス利用者の負担拡大など医療・介護の分野の歳出削減、年金改悪といった、新自由主義にもとづく財界の要求に応える政治を進めています。

しかし、金権・腐敗をはじめとした政治に対する国民の怒りは、今年の総選挙で衆議院の与党過半数割れという状況を作り出しました。いまこそ、労働者・国民に犠牲を強いる悪政にストップをかけ、私たちの要求を実現するチャンスです。

一人ひとりが声を上げ、一致する要求で団結してたたかえば社会は必ず変えられます。私たちはその先頭に立ってたたかう一員として、人間らしい生活と豊かな職場・地域・社会を実現するために、すべての労働者・国民のみなさんに対して連帯と結集を呼びかけます。